



貝田 真紀 隊員

奇跡の任期満了

2023年8月31日で、地域おこし協力隊としての3年間の任期が満了します。9月以降は北秋田市に定住はせずに、秋田市の実家に戻る予定です。知人が地域おこし協力隊をしていたこともあり、軽い気持ちで応募してしまったのですが、この3年間は想定外のことがばかりで、苦難に満ちた日々となりました。秋田県の地域おこし協力隊の定住率は全国最低ですが、3年間の自分の経験を踏まえると、この結果には明確に理由があると感じています。

り、必要なものであると思います。田舎暮らしの現実を認識せずに、漠然とした憧れだけで移住してしまふことを防げるからです。

私は任期中に狩猟免許を取得し、森吉猟友会に入会し、森吉山周辺の様々な自然体験プログラムにも参加させていただきました。私の人生で欠落していた自然体験を十分に経験できたことは、大きな意味があったように思います。3年間ありがとうございました。



▲私(貝田)がなめした子熊の毛皮

少し前に、福井県池田町の「池田暮らしの七か条」がメディアで話題になっていました。これは池田町の移住者向けの心得で、第4条の「都会風を吹かさないうよう心掛けてください」や、第5条の「多くの人々の注目と品定めがなされていることを自覚してください」という文言が注目され、批判の対象となりました。賛否両論がありました。私はこのようなガイドラインは移住者に対する親切であ

男女

共同参画
第12回

「ジェンダーギャップ指数」
日本は過去最低の125位という結果!



スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」は、世界各国の男女間の格差を数値化し、世界各国をランキングした「ジェンダーギャップ指数」を毎年発表しています。

令和5年6月21日に発表された日本の順位は、対象146か国中125位という結果になりました。昨年の116位から大きく後退し、過去最低の結果となっております。7か国の中でも最下位の順位です。

「経済」「教育」「健康」の4つの分野のデータを総合して算出され、日本は「政治」と「経済」が低い評価になっています。

「政治」に関しては、女性の議員や閣僚の数が少ないこと、女性の首相が誕生していないことが原因となり、「経済」に関しては、女性の管理職が少ないことや男女間の所得の格差が原因となっております。

北秋田市では、女性の参画を一層拡大するために、令和7年度までに審議会等における女性委員の割合を28・7%とすること、市役所内の女性管理職の割合を30%にすることを目標に掲げて取り組んでいます。

令和5年は、審議会等における女性委員の割合は29・4%、女性管理職の割合は18・5%となっております。昨年度は本市の女性議員によるパネルディスカッションを開催し、性別に関わらず政治分野へ参画することについて理解を深める機会を設けました。

まだまだ課題はありますが、多様な意見を市政に反映できるよう、今後取り組んでまいります。



市長ダイアリー

◇ 7月16日～8月15日

- 18日(火)▽大館能代空港開港25周年記念セレモニー(空港ターミナルビル)
- 19日(水)▽第73回社会を明るくする運動北秋田市民集会(交流センター)
- 20日(木)▽北秋田市農業委員会総会・任命書交付(本庁舎)
- 21日(金)▽内閣府特命担当大臣との災害に係る意見交換会(県正庁)
- 22日(土)▽陸上自衛隊第9音楽隊演奏会(文化会館)
- 24日(月)▽秋田県北部地域夏期合同要望(日沿道・大曲鷹巣道路)(仙台市)▽森吉山の国立・国定公園に関する要望活動(仙台市)
- 26日(水)▽北秋田市とみちのくコカ・コーラボトリング(株)との協定締結式(本庁舎)▽A-L-T退任式(本庁舎)
- 27日(木)▽定例部長会議(本庁舎)
- 28日(金)▽定例記者会見(本庁舎)▽北秋田市鷹巣自治会長連絡協議会通常総会(交流センター)
- 31日(月)▽鷹巣中学校東北・全国大会出場報告(本庁舎)
- 1日(火)▽北秋田市マイナンバーカード申請支援事務取扱開始式(鷹巣郵便局)▽秋田県小学生ソフトテニス選手権大会結果報告(本庁舎)
- 2日(水)▽秋田県北部夏期合同要望(日沿道・大曲鷹巣道路)(東京都)
- 4日(金)▽通学路安全確保に係る要望書提出(P・T・A連絡協議会)(本庁舎)▽北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合管理者会議・議会(森吉庁舎)
- 7日(月)▽立正大学剣道部表敬訪問(夏期強化合宿)(本庁舎)▽小阿仁川水系対策委員会総会(コムコム)
- 14日(月)▽合川まると火・合川ふるさとまつり開会セレモニー(一点火式(合川市民健康広場))
- 15日(火)▽二十歳の集い(文化会館)



▲記者会見する津谷市長

私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.83

ショー
コリガン



鷹巣神社祭典

新型コロナウイルスが収束に向かい、世の中の本来の姿が戻りつつあります。と、1か月ちょっと前に市教育委員会事務局に座って仕事をしながら思いました。そのきっかけは、7月24日、25日開催の鷹巣神社の祭典でした。徒歩通勤しながら、私の職場である市役所第二庁舎の玄関前に屋台の準備に取り組んでいる様子を見て、開催数日前からわくわく感があふれ出します。そして当日は、平日なので職場の窓から祇園太鼓の山車や子どもみこしの巡行の音が聞こえてきます。仕事の忙しい時期で、なかなか休みを取ってゆっくり観賞することが難しかったのですが、4年ぶりに街が活性化し、地域の人を楽しんでいる環境のなかで仕事

に対する新しいやり甲斐が生まれてきます。「『働く』とは『働』を『楽』にすること」でしょうか? といっても、もちろん退勤後は、暑い夏の夜にぴたり合うおいしいビールと待ちに待った日本ならではの「夏祭り料理」をごちそうになったのですよ! 今回の写真は、会場となった米代児童公園で撮影したものです。

